

本書の使い方

本書は、いずれ起こるかもしれない様々な災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、常日ごろから内容に目を通しておきましょう。

【本書の特徴】

本書は、災害時に持ち運びができるように冊子型として作成しました。
緊急時に持ち出してご利用ください。

索引

| | |
|-----------------------------|-------|
| 本書の使い方、索引 | 1 |
| 災害に関する情報、災害に備えて | 2 |
| 風水害対策、洪水に備えて、土砂災害について | 3・4 |
| 避難行動判定フロー、災害時のペットとの同行避難について | 5・6 |
| 平成30年7月豪雨 町内の被害状況 | 7・8 |
| 様々な防災情報の取得方法 | 9・10 |
| 地震対策、地域の揺れやすさマップ | 11・12 |
| 指定避難所・指定緊急避難場所とは？ | 13 |
| 熊野町索引図 | 14 |
| 熊野町詳細図、防災ハザードマップ | 15～36 |
| 非常時持出品の準備&チェック | 37 |
| わが家の「防災・緊急情報」メモ | 38 |

災害に関する情報

| 警戒レベル | 状況 | とるべき行動 | 避難情報等 |
|------------------------------|--------------|----------------|----------|
| 5 | 災害発生又は切迫 | 命の危険 直ちに安全確保 | 緊急安全確保 |
| <警戒レベル4までに必ず避難> | | | |
| 4 | 災害のおそれ高い | 危険な場所から全員避難 | 避難指示 |
| 3 | 災害のおそれあり | 危険な場所から高齢者等は避難 | 高齢者等避難 |
| 2 | 気象状況悪化 | 自らの避難行動を確認 | 大雨・洪水注意報 |
| 1 | 今後気象状況悪化のおそれ | 災害への心構えを高める | 早期注意情報 |

※外に出ることが危険な場合は、自宅の2階などの屋内で安全を確保しましょう。

災害に備えて

どう避難すればいいの？

大雨・洪水の時はこうして避難

●足元に注意

水中の溝等に注意し、長い棒を杖代わりにして確認しましょう。道路は出来るだけ真ん中を歩きましょう。



●ロープにつながって

小さい子供などは大人とロープで体をつなぎましょう。



●子供やお年寄りを安全に

警戒レベル3高齢者等避難で早めの避難をしましょう。



●車は使わず、歩いて避難

あらかじめ決めておいた、よく知っている避難コースを通りましょう。



●ひざ上まで水につかると歩きにくくなります。

洪水の中での避難はできるだけ避けましょう。歩ける水の深さは50cm程度が限度です。



●危険なところは避ける

崩れ、狭い道、がけや川のそばは避けましょう。垂れ下がった電線には近づかないようにしましょう。



その他避難の時に注意すべきこと

●家に避難先、安否状況のメモを残す場合には、防犯対策をしっかりとっておきましょう。



避難するときの服装のポイント

- ヘルメット等
- 長そで、長ズボン
- 長靴は水が入るとかえって動きづらくなるので×、水中でも脱げにくく歩きやすいひも靴は○
- 軍手、手袋
- 非常持ち出し袋